

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本9月日銀短観)

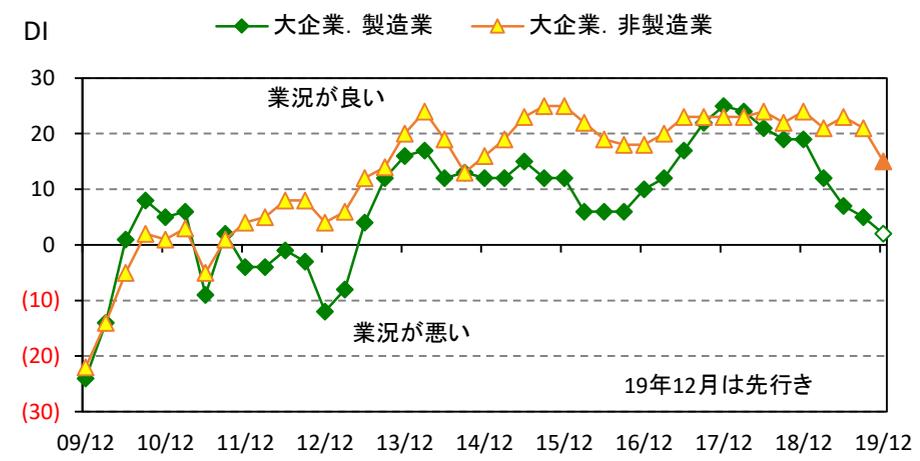
2019/10/1

りそなホールディングス 市場企画部
エコノミスト 村上 太志

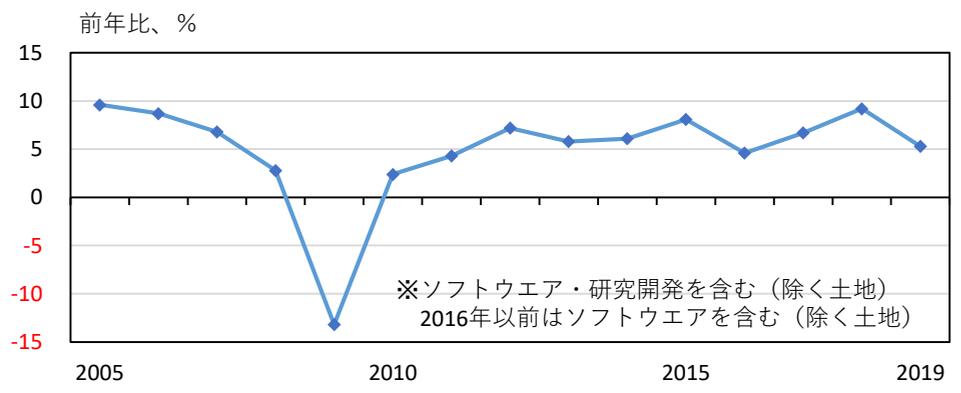


- ◆ 大企業・製造業の業況判断DIは6月調査から下落(7→5)した。但し、世界的な景気不透明感や米中貿易摩擦を背景に強い減速を予想していた市場予測と比較すると底堅い結果となった。
- ◆ 大企業・非製造業の業況判断DIは21と堅調な結果。現時点で景況感悪化の動きは製造業に限定されている。
- ◆ 企業の想定為替レートは6月調査(109.35円)からは円高水準の108.68円と現行水準に近い。何らかの要因で急速に円高が進行した場合の収益下振れリスクに注意が必要。
- ◆ 2019年度の全規模全産業の設備投資計画(ソフトウェア・研究開発含む、土地除く)は+5.3%と6月調査よりは▲0.4%の下方修正。設備投資計画は減速しているものの依然底堅いと評価できる。
- ◆ 今回の短観は、日銀金融政策を見極める一つの材料として注目された。景況感の悪化は製造業の一部に留まっており、非製造業は依然堅調。また設備投資計画も底堅さを維持していることを考えれば、今回の結果自体は追加緩和の可能性を高めるものではないだろう。

【業況判断DIの推移】



【9月調査の設備投資計画推移】



業種	DI (%ポイント)	業況判断				変化幅		
		2019				2019		
		3月実績	6月実績	9月実績	12月先行き	6月	9月	12月
大企業	製造業	12	7	5	2	-5	-2	-3
	非製造業	21	23	21	15	2	-2	-6
	全産業	17	15	13	8	-2	-2	-5
中堅企業	製造業	7	5	2	-1	-2	-3	-3
	非製造業	18	18	18	9	0	0	-9
	全産業	13	13	12	5	0	-1	-7
中小企業	製造業	6	-1	-4	-9	-7	-3	-5
	非製造業	12	10	10	1	-2	0	-9
	全産業	10	6	5	-3	-4	-1	-8

【出所】日本銀行、IN情報センター

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。